

# ごむの木の

発行人  
八千代市社会福祉協議会  
高津 5・6 街区支会  
支会長 多田 久尚  
Tel 459-1401

## 客席にいきましょう！第四弾！！



### 寄席は雰囲気が一番

5 街区 小林 喬

寒さ厳しきおり、久方ぶりの客席を楽しみました。笑点での歌丸師匠、昇太さんなど、顔なじみというのもおかしのですが、話を聞いているだけで笑ってきます。特に「とり」の歌丸師匠の話の間や、語りの味わいには、さすが真打と感心しました。やはり寄席は行って雰囲気味わってみるのが一番だと思いました。

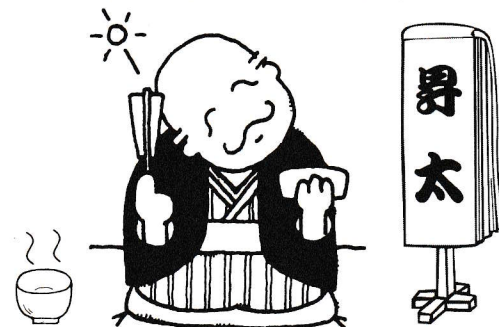
演目が多く時間が長すぎました。仲見世をぶら~とする時間が欲しかったです。

### 寄席に行きました！

6 街区 山田 栄一

「寄席に行きましょう！第4弾!!」に参加。今回は新春の寄席を見に、浅草演芸ホールに行きました。私たち夫婦は寄席が好きで、年に2、3回バスと電車を乗り継いで浅草へ出かけております。1月14日、天気は晴れでも気温が低く寒い日でしたが、団地からバス2台に分乗し、直行は嬉しいことです。

演芸を見て美味しいお弁当をいただき、そして最後の落語まで聞いて、大満足の日でした。年にもう1回くらい計画していただけならなあと思ったりしています。



## 皆さん、お元気です〜！

### 夜明けの欣さんの弁

5 街区 山浦 欣一

私はシンガポールで生まれて、国民学校に入学寸前に九州は福岡県の最も奥地に来ました。途中、戦争が終わり高校1年生まで田舎にいて、2年生のときに東京の赤坂に来て20歳で家出をしました。その後はホームレスで神田、横浜、横須賀などを転々として昭和33年初めて千

葉県に来ました。千葉でもアチコチと落ち着かず、八千代を初めて訪れたのは仕事で昭和48年でした。平成元年に今の住家を買ったのですが、1年ほど居て人に貸し、数年前に再び妻を残して私一人で帰ってきました。様々な所に住んでみて高津団地ほど素敵な所はないと確信していま



す。気候も環境も申し分ないし、特に人情味は最高の所...73歳の若造の正直な気持ちです。



## 災害時における要援護者 避難支援システム確立のための シンポジウム開催

災害はいつ発生するか予測が難しいですが、関東地方では、今後30年以内に震度6を超える大地震の発生する確率が70%以上といわれています。もし発生した場合、被害を蒙るのは主に高齢者や障害者です。高津団地では阪神・淡路大震災の救助活動のノウハウを持つ、ちばコープの専門家のリードのもと社会福祉協議会、自治会、支会、民生委員、地域包括支援センター、身体障害者福祉会、小学校からなるプロジェクトチームを結成し、昨年から要援護者の避難支援システム作りの作業を続けてきました。その作業の結果発表が3月6日(土)高津団地第一集会所で開催されたシンポジウムでおこなわれました。会場では阪神・淡路の大震災を中心とする大震災のビデオ「激震の記録」の上映の後、高津団地全体で行われたアンケート調査の結果報告がありました。注目すべき点は、

1. 団地の要援護者数は世帯数(4,049)対比で41.7%、住民数(8,647)対比では27.7%で決して少数ではありません。
2. 災害発生時直ぐにかけつけられる家族や親戚がいる人は18.7%と少ない中、同じ棟に友人がいる人は32.7%、生活圏内で顔見知りの方が10人以上いるが

46.8%と、隣近所との支えあう関係が薄れていることがわかりました。

3. 個人情報の開示に同意してもよいと考えている人は46.9%でした。
4. 要援護者として予想される対象者には介護保険の要介護度3以上の居宅介護者、身体障害者(1・2級)、知的障害者(A判定)、精神障害者(1級)、一人暮らし高齢者、シルバー世帯、乳幼児、難病者、外国人等が含まれます。また災害時には誰でもが要援護者になり得るということです。

このような情報から、これからの課題として隣近所の人と支えあう関係のある地域コミュニティの再生と平日に災害が発生した場合に機能する支援者のネットワーク作りが必要と感じました。(シンポジストとして参加した高津5・6街区支会 多田 久尚 記)

## 4 支会情報交換会報告

支会事務局

2月28日(日)、高津、緑が丘地区4支会情報交換会が開かれました。緑が丘周辺の大新上支会、ローズタウンを含む高津支会、高津団地支会と高津5・6街区支会の4支会です。各支会の総会資料等をもとに、夫々の支会の福祉委員の現状、支会活動、抱えている問題等を話し合いました。

6,000世帯ある「大新上」は20自治会中9自治会しか福祉委員が選出されていない、高齢者に行事案内が出せない等の悩みを抱え、他方、1支会1自治会の「高津団地」は自治会役員は全員福祉委員で、福祉委員は終身制というつながりの良さがあるが、行事に全く顔を出さない人たちへの対応はどうすべきか等の悩み...どの支会も本当に頑張っています。

1,020世帯の当支会は5、6街区両自治会の協力もあって、350名の高齢者もほぼ把握できているという好条件のもとで、とても活動しやすい支会だと痛感しました。



### 新福祉委員の紹介

次の方が新しく福祉委員になられました。

★川井 啓子さん(6街区ボランティア)

皆さんよろしくお祈りします。